

第6学年国語科学習指導案

単元名 「持続可能な社会」の実現を呼びかけるリーフレットを作ろう

教材名 「未来に生かす自然のエネルギー」牛山 泉作 （東京書籍 小学校6年下）

1 単元について

(1) 児童観

児童は、今年度「イースター島にはなぜ森林がないのか」という説明的な文章の教材を用いた学習において、文章全体の構成に着目しながら要旨をとらえ、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる活動を行っている。また、「新聞の投書を読み比べよう」の単元では、書き手の主張や根拠の示し方を考えながら4つの投書を読み比べ、それぞれの意見に対して意見を述べ合う活動を行っている。これらの活動を通して、筆者がどのような主張を述べているかを読み取ることはできるようになってきている。しかし、筆者の資料の示し方や論を進める上での書きぶりの工夫を客観的に読み取ることができるまでには至っていない。このことから、考えや意見を述べる際の資料の示し方に着目しながら、筆者の説明の工夫を読み取る学習に取り組ませる必要があると考える。

(2) 教材観

小学校高学年の児童は、様々な教科の学習や委員会活動などにおいて、資料を活用しながら説明したり考えを発表したりする場面に直面する。そうした場面に生きて働く言語能力を身に付けさせるために、本単元では、資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら筆者の意見を読み取らせていきたい。

本教材は、エネルギー問題に関しての現状や解決策を述べている説明的な文章である。本教材の特徴として、文章中に数多くのグラフや資料が提示されていることが挙げられる。論を進める上で、それらのグラフや資料から読み取れる事象を関係付け、『『使い切りエネルギー源』を、少しずつ『自然のエネルギー源』に切り替えていく必要がある』という主張を行っている。筆者の資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら文章構成や要旨を読み取らせるのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する（「C読むこと」（2）イ）活動を言語活動として設定する。

第1次では、エネルギー問題に関してのリーフレットを作成して、地域に向けて自分の考えを発信することを提示し、学習の見通しをもたせる。リーフレットを作成するために、筆者の資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら教材文を読み取るという学習の流れを把握させることで、児童に読みの必然性をもたせたい。

第2次では、筆者の資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら、教材文の文章構成や要旨を読み取らせる。その際、「文章構成」と「資料の示し方」という2つの読みの視点を児童に示す。そうすることで、「現状(具体的な取り組み)」「課題」「解決策」という順序で説明していることと、伝えたい内容に合った資料を選んだ上でその資料の説明をしていることを読み取らせる。これらの筆者が読み手を納得させるための工夫を、ここでは筆者の「説明の技」とする。リーフレットを作成する際、この「説明の技」を活用できるようにしたい。

第3次では、児童それぞれに調べたい課題を見付けさせ、リーフレットにまとめさせる。教材文

で読み取ったことを生かすために、複数の資料を活用しながら自分の意見を述べさせるようにする。

第4次では、完成したリーフレットを読み合い、成果を交流させる。教材文の読み取りが、リーフレット作りにどのように生かされたのかを、振り返らせたい。完成したリーフレットは、市役所や市立図書館などに展示し、地域の人々に見てもらえるようにする。その際、リーフレットを見た人から感想をカードに書いてもらい、学習の成果を児童が実感できるようにしたい。

2 単元の見積

エネルギー問題に対する自分の考えをリーフレットにまとめることを通して、資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら筆者の意見を読み取ることができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
1 エネルギー問題に関心をもち、進んで学習に取り組もうとしている。 2 意欲的に自分の考えをリーフレットで発信しようとしている。	1 資料や具体例の示し方に着目しながら要旨を捉え、エネルギー問題に対しての自分の考えを明確にしながら読んでいる。【C読むこと(1)ウ】 2 自分の課題を解決するのにふさわしい資料を選んで読んでいる。【C読むこと(1)カ】	1 説明的な文章における文章全体の構成を理解している。 【イ言葉の特徴やきまりに関する事項(キ)】

4 指導と評価の計画（全9時間）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準とその方法
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ エネルギー問題に関する新聞記事を読む。 ○ 教材文を通読して初発の感想を書く ○ 単元のめあてや学習の流れを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な問題から、エネルギー問題に対して関心をもちさせる。 ・新聞記事を電子黒板で提示する。 ・疑問に思ったことや気付いたことなどをワークシートに書かせる。 ・エネルギー問題に関してのリーフレットを作成して、地域に向けて自分の考えを発信することを提示し、学習の見通しをもちさせる。 	アー1 エネルギー問題について関心をもち、進んで学習に取り組もうとしている。 [ワークシートの記述及び発言]
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を序論、本論、結論に分け、筆者の主張を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大まかな文章構成を把握させ、序論部分に対しての筆者の主張が結論部分に書かれていることを読み取らせる。 ・文章構成を考えさせる際は、 	イー1 筆者の主張を読み取っている。 [ワークシートの記述] ウー1 文章全体の構成を理解している。

		<p>○ 筆者の主張についてワークシートにまとめ、発表し合う。</p>	<p>根拠となる言葉や内容に着目させ、形式段落で分けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題提示(序論で筆者が一番述べたい部分)」「筆者の主張(結論で筆者が最も述べたい部分)」を文章中から探してまとめさせる。 	<p>[ワークシートの記述]</p>
3	本時	<p>○ 図①②の示し方に着目しながら、本論1の筆者の「説明の技」を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本論1を「現状」「課題」「解決策・本論2への導入」の3つのまとまりに分けさせ、この順序で説明していることが筆者の「説明の技」の1つであることに気付かせる。 ・図①②を電子黒板で提示する。 ・図①と図②を示す際に共通する事柄に着目させ、それが「説明の技」であることに気付かせる。 	<p>イー1 本論1の資料や具体例の示し方の工夫を読み取っている。</p> <p>[ワークシートの記述]</p>
4		<p>○ 図④⑤や写真の示し方に着目しながら、本論2の筆者の「説明の技」を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本論2を「現状」「具体的な取り組み」「課題」「解決策」の4つのまとまりに分けさせ、本論1と似ていることに気付かせる。 ・図④⑤や写真についても電子黒板で提示し、図①②と同様の示し方であることを確認させる。 ・図③を電子黒板で提示し、この図の使い方についても簡単に触れ、これも「説明の技」の一つとして捉えさせる。 ・筆者の「説明の技」についてワークシートにまとめさせる。 	<p>イー1 本論2の資料や具体例の示し方の工夫を読み取っている。</p> <p>[ワークシートの記述]</p>
三	5 6	<p>○ 地域に呼びかける課題について資料を活用しながら調べ、ワークシートに整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に呼びかけたい自分の課題を見付けさせる。 ・本(図書室との連携)やインターネット等から複数の資料や情報を集めさせる。 ・集めた資料が、自分の課題に対してふさわしいか確かめさ 	<p>イー2 自分の課題を解決するのにふさわしい資料を選んで読んでいる。</p> <p>[ワークシートの記述]</p> <p>ウー1 文章全体の構成を理解している。</p> <p>[ワークシートの記述]</p>

			せ,読み取ったことを基に「現状」「課題」「解決策」の順でワークシートに整理させる。	
	7 8	○ 調べて分かったことを図表などの資料を工夫しながらリーフレットにまとめる。	・資料や具体例の示し方について教材文から読み取ったことを振り返らせ,それらを活用しながらリーフレットを作成させる。	イー1 エネルギー問題に対する自分の考えをリーフレットにまとめている。 [リーフレットの記述]
四	9	○ 完成したリーフレットを読み合い,成果を交流する。 ○ 学習の振り返りをする。	・完成したリーフレットを見せながら自分の考えを発表させる。 ・この学習で学んだことやリーフレットを読んでもらう人に対する願いを書かせる。	アー2 意欲的に自分の考えをリーフレットで発信しようとしている。 [ワークシートの記述及び発言]

5 本時の指導 (3/9)

(1) 目標

筆者の資料や具体例の示し方に着目しながら,本論1を読み取ることができる。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点 ■ICTの活用 ●形成的評価とそれに基づく支援
1 前時の学習を振り返り,本時のめあてを確認する。	○ 前時に読み取った筆者の主張を振り返らせる。 ○ その主張を行うために,筆者がどのような「説明の技」を使っているのかを読み取ることで,リーフレット作りに活かしていくことを確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">本論1の筆者の「説明の技」を読み取ろう</div>	
2 筆者の「説明の技」を読み取る。 (1)文章構成表から,本論1が3つのまとまりに分けられ,その順に説明していることが筆者の「説明の技その1」であることを確認する。 (2)資料を活用していることが筆者の「説明の技その2」であることに気付く。	○ 前時に学習した文章構成表を教室側面等に掲示しておき,確認させる。 ○ 写真やグラフなどの資料を使って説明していることに気付かせる。
3 資料を活用してある⑥段落と⑦段落から,資料を活用する際の「説明の技その2」を読み取る。 (i)一人で	○ ⑥段落は図①について,⑦段落は図②について書かれていることを確認させる。 ■ 図①,図②を電子黒板で提示する。 ○ ⑥段落と⑦段落を比べ共通点を見付けさせ,

(ii) ペアで

(iii) 全体で

【予想される児童の発言】

- ・はじめに図①や図②という資料の番号が書いてある。
- ・図の題名を書いている。
- ・グラフから読み取れることを書いている。
- ・数字をたくさん使っている。 など

(iv) 交流した後、ワークシートにまとめる。

4 本論1での「説明の技」をまとめる。

(1) 現状→課題→解決策・本論2への導入の順に書いている。

(2) 資料を使っている。

- ①何を示した資料であるかを書いている。
- ②資料を詳しく説明している。
- ③具体的な数字を使っている。
- ④伝えたい内容に合った資料を選んでいる。

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

「説明の技その2」の項目に応じて実践・点線・波線、色を分けるなど工夫させながら、サイドラインを引かせる。

共通している点	
1	何を示した資料であるかを書いている。
2	資料を詳しく説明している。
3	具体的な数字を使っている。
4	伝えたい内容に合った資料を選んでいる。

● 共通点が見付けられない児童には、⑥段落と⑦段落とを比べさせ、筆者が同じような書き方（説明の仕方）をしている部分に着目させ、どんなことが書いてあるかを読み取らせる。

○ エネルギー問題における課題を提示し、筆者が伝えたい内容に合った資料を選んだ上で、円グラフの割合や折れ線グラフの変化について説明していることに気付かせる。

○ 「説明の技その2」についてワークシートにまとめさせる。

【評価】 イー1

本論1の資料や具体例の示し方を読み取っている。

[ワークシートの記述]

○ 本時のめあてに戻って考えさせる。

○ 次時は、本論2の文章構成や資料の示し方に着目しながら読み進めていくことを知らせる。